



日本共産党佐々町議会議員

永田かつみの 議会報告

3月・佐々町議会

政府に核兵器禁止条約の 署名・批准を求める決議を 全会一致で可決

佐々町議会は3月22日の本会議で、政府に対し「核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書」を全会一致で可決しました。

佐々町議会は3月22日の本会議で、政府に対し「核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書」を全会一致で可決しました。

総務委員会で日本共産党の永田かつみ議員が提案し、全会一致で総務委員会としての提案となりました。長崎県内では11番目の意見書では「日本は唯一の戦争被爆国であり、核兵器廃絶の問題でも積極的な役割を果たすべき立場にあり、国際社会からもその動きが求められる」と指摘。

「にもかかわらず核兵器禁止条約に反対の態度をとり続けることは、被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める多くの国民の願いに反するものです。」と述べ、「日本政府がこれまでの態度を改め、速やかに核兵器禁止条約へ署名、批准することを強く求める」としています。

町民のみなさんからは、「核廃絶を求める町民の思いが示されうれしいです。政府は1日も早く署名・批准をして欲しいです」との声が寄せられました。

コロナ対策などの前進面を評価

2021年度 (令和3年度) 一般会計予算に賛成

3月議会では、新年度予算が全会一致で採択されました。永田かつみ町議は、今回の予算に対して、新型コロナウイルス感染症対策の議案など、前進面を評価して賛成しました。

新型コロナウイルス対策として、全町民に1人4回までのPCR検査費用（1回5000円）の助成が盛り込まれました。また、要望が寄せられていた、子育て世代への保育料軽減、町内出身学生への応援給付金（1人10万円）事業、保育施設従事者慰労金（1人5万円）なども実施されることになりました。また、新型コロナウイルスに対する相談窓口が設置されていますのでご利用下さい。詳しくは町ホームページをご覧ください。

そのほか、予算関連質問では、町ホームページの改善、松浦鉄道ホーム階段の手すり設置の要望、給付型奨学金の拡充などを取り上げました。

コロナから命とくらしを守る 困った人にやさしい政治を

永田かつみ町議が2期目めざし・決意

日本共産党長崎県北部地区委員会と同佐々支部は6月に行われる佐々町議会・議員選挙に、永田かつみ町会議員を立てて、たたかうことを決定し、発表しました。

永田町議は、二期目をめざす決意を次のように語っています。

公約にかかげた・小中学校のすべて教室にエアコンを設置・小中学校トイレの洋式化・こども医療費、窓口負担なしで高校卒業まで無料化・高すぎる国保税・介護保険料

の引き下げ など、みなさんと一緒に声を上げて実現する事ができました。

これからも、コロナから命とくらしをまもるために全力をあげるとともに、『多目的の町内循環バス』を実現して、買い物・通院治療・こどもたちの安全な登下校を保障するなど、町民みなさんの声で政治を動かして、困った人にやさしい町政・だれもが安心して住み続けられるまちづくりをすすめて行きたいと考えています。

*